

紙面紹介

- 1頁 会長あいさつ、総会案内
- 2頁 学校長あいさつ、定時制の現況
- 3頁 母校の現況
「よい伝統」をつくりたい
- 5頁 体育部の奮戦、この一年
- 6頁 同窓会館兼合宿所建設
支部連絡先
- 7頁 事務局便り、予・決算他
- 8頁 同窓会規約、編集後記

福島県立郡山北工業高等学校

同窓会報

発行所
〒963 福島県郡山市富久山町八山田大林1
福島県立郡山北工業高等学校同窓会
郡山(0249) 32-1199・32-6217

発行者 渡辺達英
編集代表 高野和雄
写真撮影 宮部正吉
発行部数 6,000部

印刷所
(有)ヤシマ孔房
〒963 郡山市菜根1-6-21
☎ 22-3533(代)

桃見台にあった旧郡山工高の校舎は、すっかり取壊されて、その後、安積第二高校の校舎が建築されている。あの校地に立つて思うことは、学生時代から今日に至る歴史の跡だけで何もない。ただ建築の囲の外に立つ校歌の記念碑が寒風の中にさびしい。

郡山北工の校舎建設も三期工事が終り、三万坪の敷地の中に立ち並んでいる。しみじみと見る校舎に様々な思いが浮ぶ。

旧郡山工高がその建設のため建設期成同盟会を結成したが、合併後郡山北工建設期成同盟会と改称し、その資金を受けついで来たが今日その資金を基本として合宿所の建設を企画した。合宿所は旧郡山時代からの念願であったが実現出来なかった。校舎の整備とともに体育関係からの要望があり、又一昨年野球部が甲子園に出場したこともあって



同窓会館 建設協力を

同窓会長
渡辺達英

合宿所建設の要望が高まったので、去る六月の期成同盟会の総会に於て、期成同盟会の目的は達せられたとして、残金処理について討議した結果、残金二千万円を合宿所建設に使うことに決定した。次いで建設委員会が設けられ、規模、内容予算等について話し合ったが、同窓会館兼合宿所として、合宿所他に同窓会室を設けて、旧郡山工高並に郡山工高の資料、記念品その他関係あるものを収蔵保存すると云うことになり同窓会でも三役会、役員会等を開き、協議した結果、同窓生が気がるに利用出来る場所の必要性を感じ、その実行に移ったのである。会員、並びに関係企業から、三千五百万円募金することは大変な事であるが、会員から一人平均五千元として五千名から募金があれば二千五百万円の資金を集めることが出来る。聞く所によ



母校校舎全景

同窓会員数

(本日現在見込み)

郡山工全	五、八三
同(定)	七、七
郡西工	三、七
郡北工全	一、七
同(定)	一、九
計	二、三三

れば、校名が変わったから母校は無いと云う会員がいるが、校名が変わり、旧両校が合併したとしても今更どうしようもない。私としても合併のために三万坪の校地の買収に協力したつもりはなかった。屈辱は感じているし、一生忘れることは出来ないが、このままでいいのか、この同窓会館を我々の母校として残したい。後

第四回 同窓会総会通知

第四回定期総会を左記のように開催いたします。本年は同窓生の願望でありました同窓会館建設の報告もありますので多数参加して下さいますよう御案内申し上げます。

記

期日 五月十八日(日)
午後二時より

場所 福豆屋 三階

会費 三千元

輩のためにも、そして我々同窓生の心のより所にしようではないか。心ある同窓生諸君、君達の力で立派な同窓会館を建設しよう。母校の歴史に残る殿堂を、心のわだかまりをすてて協力しよう。そして「ああ、これが俺達の手で出来た母校か」と、掌で壁や柱をなでてみないか。諸君の協力の結果を期待してペンを置く。

文房具・事務用品・ファンシー・アクセサリ・画材

有限会社 **渡 達**

郡山市麓山通り(市民会館入口) TEL 22-1159

生徒の幸せを願いつつ

今秋、落成記念式典

校長 賀川 力



環境に恵まれた広大な敷地に、白亜の校舎が建ち並ぶ郡北工。これぞ県がモデル校として建設した全国に誇り得る工業高校である。大先輩の校長が早くから唱え続けて来た理想像であり、県立郡山西工と県立郡山西工の再結晶の姿である。

幾多の困難を克服して大同団結された同窓会諸兄に心から敬意と感謝を表す次第であります。本校野球部の甲子園出場の際、見事結集された団結と、今回同窓会館建設に示された母校愛の精神こそ、あとに続く後輩諸君への何よりの教訓だと思えます。

つ同窓会諸兄から敬愛される母校へ成長するため、全定合せた千三百五十名の生徒と、本校に奉職する百四十名の職員が一致協力し、校訓である調和・創造・特色に基づき名実共にモデル校の名に恥じない学校とするため、学習活動・生徒会活動・進路指導に一層の力を注ぎ、努力精進していく事を誓うものであります。

学校では生徒の将来の幸せを願いながら、親の期待と願望を達成するために「交通安全指導」を、生徒諸君の自覚の向上と理解を図りながら強力に推進しております。在校生の八〇%が自転車通学生なので、交通事故防止のため、安全指導には特に配慮を加えています。

また生徒会部活動も極めて活発であり、五十五年度も明るい展望が開けているように見受けまますので今後とも暖かいご声援をお願い致します。この意味でも先輩諸兄が提唱されている同窓会館の一日も早い完成を

心から期待しております。同窓生諸兄におかれましては、今後共健康に一層のご留意をはられ、皆様方の



定時制の現況

教頭 岩越 銀三

桃見台校舎では「上を向いて歩くな」でした。廊下のあちこちに段差があって、転倒しかねない。あとからあとから校舎を増築する度に、段差が増えていったわけです。そのほかあの校舎にはいたるところに、郡工発展先輩諸氏の努力の跡がうかがえました。

郡工跡地をしるす記念の「いしぶみ」を桃見台に建立しました。そして万感を胸にいただいたま、新装の八山田校舎に移転しました。広大な敷地、白亜の校舎、夕日に映える安達太良、こうこうと輝やく製図室等す

限らない発展を祈念してやみません。故郷へお帰りの折とか、お仕事の折々等母校をお訪ね下さる事をお待ち致しております。

校舎も建ち、実習室も建ちましたので、体育諸設備の整備と教育環境の一層の整備を図りながら皆様方の期待に答えて参りたいと思

べてが目を見張るものでした。食堂で皆んなそろって給食が受けられます。寒い冬でも隙間風に悩まされなくてすみます。恵まれておりますが桃見台時代の先輩諸氏の苦闘を忘れたくないものです。

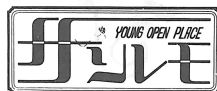
現在生徒数、百三十四名教職員二十七名です。機械科、電気科の二学科が設置されています。通学距離が遠くなったり、バスの便がなかったり、暗やみの悪路があったり新校舎への通学には新たな困難が横たわっていました。しかし先輩諸氏の苦勞に比べれば、こん

な障害は物の数ではないと頑張っています。生徒の活躍ぶりをお知らせします。県定時制通信制体育大会では、ほとんどの種目に優勝または準優勝しました。このうち優勝したバレーボール、軟式庭球、剣道、柔道と推せて陸上競技が代表として全国高校定通体育大会に出場し活躍しました。文化面では県定通生活体験主張発表会に、県南地区代表として出場、入賞しました。

本校の問題点として、生徒数の減少があげられます。高校への進学率は九〇%余にも達したのに定時制へも志願者は減少し続けています。更に鉄道学園との連携教育が今年度で完全に休止になります。このため更に生徒数が激減します。しかし苦難の八〇年代において定時制の役割は重要性を取りもとすことでしょう。教職員、生徒一丸となって定時制教育の振興に努力してまいります。また五十五年度から「第三学年編入学生徒募集」を行ないます。これは普通高校、商業高校等の卒業生を対象に二年間で工業高校卒の資格を付与します。お心あたりの方に先輩から一言ご勧誘いただければ幸いです。

婦人靴・ハンドバック店 ☎ 24 - 0539

ビックカウンター店 ☎ 24 - 0540



郡山市中町ビュープラザ2F



教頭 松本 紹夫

母校の現況

同窓生の皆様元気で活躍のこと存じます。

母校も創立以来三年、校舍や設備も完成して全国有数の工業高校となりました。概要をご紹介しますと、敷地九三、〇〇〇㎡、建物二〇、〇〇〇㎡、実験実習設備三八、〇〇〇万円、生徒数一、三五〇名、教職員数一四〇名となります。

次に昭和五十四年度事業の主なものをお知らせ致します。

①産業教育施設三、一六二㎡、②産業教育設備一、九六七万円、③プール(二五m×七コース)、④グランド及びプールの夜間照明などです。他に北工建設期成同盟会による防風林の植栽。昭和五十四年度卒業生による玄関前ロータリーの寄贈がありました。

ただ寂しいことは桃見台校舎が全部取壊されたことです。現在跡地には安積第二高校の建設が行なわれています。定時制教育については喜ぶべきことですが、

同窓生にとっては愛惜の情が尽きないものがあります。在校生の状況ですが三年生の就職内定者は三〇七名、進学者は大学一四名、短大五名、専修学校一七名の合格が内定しています。(二月末現在)。卒業までは全部決定する見込みとなります。また本校の教育目標の一つである特色ある生徒の育成の一環として資格取得について努力していますが今年度は電気工事士、二級ボイラー技士、危険物取扱主任技術者、ガス溶接、アーク溶接従事者資格等の取得については県内工業高校では最高の合格率をあげ全国でもトップクラスと推定されます。更に本校への女子生徒の入学も年々増加しており在籍数は三年生二名、二年生一四名、一年生四〇名となつて女子の工業教育に対する関心と理解の一端を示すものとして心強く感じています。

今年度をもって学校建設

の大部分が終了しますので本年十一月初旬を目途に落成記念式典並びに工業祭を実施することを計画しております。多数の同窓生の皆様のおいでをお待ちしています。同窓会でもこれに合わせて記念事業として同窓会館兼合宿所を建設して後輩



教頭 丹治 元安

「よい伝統」をつくりたい

本校は昨年四月から八山田校舎一本に統合され、新しい校舎で生徒数二二〇〇名、三〇学級、それに定時制課程を加え、全職員一四〇名の大規模校としてスタートした。施設・設備は東北随一、全国でも屈指の工業高校となった。

郡山北工高として、これからやらねばならないことは内容を充実することである。学習面や生徒指導面などにおいて、特色のあるよい校風やよい伝統をつくりたいかねばならないと思う。

「生徒たちは明るく、よく勉強し、部活動は活発で、

にプレゼントするため募金活動を展開しておられることを聞き感激している次第です。

母校の発展のため一そうのご指導とご協力をお願い申し上げます。最後に皆様のご健康とご活躍をお祈り致します。

本校は昨年四月から八山田校舎一本に統合され、新しい校舎で生徒数二二〇〇名、三〇学級、それに定時制課程を加え、全職員一四〇名の大規模校としてスタートした。施設・設備は東北随一、全国でも屈指の工業高校となった。

郡山北工高として、これからやらねばならないことは内容を充実することである。学習面や生徒指導面などにおいて、特色のあるよい校風やよい伝統をつくりたいかねばならないと思う。

「生徒たちは明るく、よく勉強し、部活動は活発で、

り郡山北工高の基礎を固めた。次に学習面と生徒指導面であるが、基本的には左記のような考えで生徒を指導している。

(1) 学校の成績がよく、頭の切れる生徒は、のんびりしないでどしどし勉強して実力をつけよ。大学などではなくともい。ただ工高卒として日本一になり一流会社や将来性のある会社に就職せよ。勉強と同時に部活動で体力とファイト、そして人間関係を学べ。こういう生徒は将来伸びられるだろう。

(2) 大学にいきたい者は推薦制度を利用せよ。ただし入学したら専門教科は普通高校出身者に負けるな。

(3) いくら努力しても成績のあがらない者もあきらめることなく努力せよ。学校では教科成績で評価されることが多いが実社会では、人間性が重視される。仕事をやる気がある。みるからに体が頑健。人を使う能力がある。礼儀正しい等の資質を養っていけば実社会に出て伸びられるだろう。……こんなことを生徒に教えながら郡山北工の伝統づくりに努力している。



<p>★新刊 書籍・雑誌・教科書 辞典・参考書・文庫 etc</p> <p>(有)松文堂書店</p> <p>堂前店 郡山市堂前町(如宝寺前) ☎322362 さくら通り店 郡山市清水台(八幡プラザ) 1F ☎221735</p>	<p>美しい写真・美しい仕上げ</p> <p>みすず写真店</p> <p>阿久津 満 夫 (機2期卒)</p> <p>郡山市中町5番23号 ☎22-6456</p>
---	---



冠雪の校庭

体育部の奮戦、この1年

めざましいサッカー、テニス、バスケ等

母校生徒会は専門委員会

十一、学芸部十四、体育部十六で構成されています。こころは同窓会館の建設も予定され、各部一段の奮起が望まれます。員の関係で「体育部この一年」その成果の一部と定通大会関係をお知らせします。

陸上競技

例年になく数多くの新入部員を迎えて、スタートしたわが部は左記のような成績で今年度を終わりました。

- 県高校大会 (いわき) 四〇〇米H 第三位
- 史男 一六〇〇米R 第三位
- (芳賀、柏原、石井、国分)
- 県ジュニア選手権(郡山) 四〇〇米H 第一位
- 国分 史男

- 県南新人大会 (白河) 男子総合第六位
- 県新人大会 (若松) 砲丸 第五位

今年度の目標としては各種目に平均した力をつけてきたことと、選手自身に「意欲・自覚」がでてきたことで、県南地区で総合優勝を合言葉に毎日練習を続けております。(星 保男)

野球

昭和53年7月23日、開成山球場で割れんばかりの大歓声の中で郡山北工高の歴史の一ページを創り上げた夢の甲子園大会出場。太陽がさん然と輝き、土と埃にまみれて体ごとぶつかっていき北工魂が今も脳裏に焼きついていません。そして、あれから二年たった今、またあの大歓声を郡山北工高のために呼び起こそうと部員一同日夜精進しています。

先輩方が築きあげた甲子園大会出場というものは郡山北工高野球部が長く限り大きな役割をはたしてきています。しかし輝やかない歴史一つあるだけでは、それはもう一つの過去にだけにしかすぎなくなってしまう。そんなことを除去するために必要なのが二度目の「甲子園大会出場なのです。野球には現在しかありません」

しかしあのすさまじいほどの北工魂やファイトは忘れずに受け継いでやっていくつもりです。そして今、現在の野球部で二度目の甲子園出場を目ざしたいと思っております。(石沢義和)

サッカー

「このチームでもっとゲームをしてみたい」三年生にとっては高校生活最後の全国高校サッカー選手権県大会準決勝で優勝候補の郡山商高に惜しくも敗れ、三位決定戦に臨むときにそう思った。こころは県高校大会では実力を評価され、勿来工高に延長戦の末敗れ、県総合大会では勿来工高にはP・K勝ちしたものの福島商高の一発に敗れ、三位に甘んじた。そして今年度の三位決定戦も相手は勿来工高だった。皆最後まで、気を抜かず頑張り勝ち、東北高校サッカー選手権大会への出場権を得た。三年生は就職試験を控えて多忙になったが、この勝利でもう一度自分たちの力をためすチャンスが与えられた。

東北大会でのチームの雰囲気は良く、一回戦秋田高に完勝し、二回戦東北屈指の五戸高にもいい試合展開で勝ち、準決勝では昨年度優勝の西目農高と対戦した。泥濘のグラウンドで皆十二分の活躍をしたが延長戦となり、残念ながら二対二の引分けでP・K戦負けとなった。しかし多くの経験は必ず今後役に立つものと思っ

ている。(遠藤 雄)

軟式庭球

「光陰矢のごとし」という言葉があるが、今振り返ってみるとまさにその通りだった感じがある。内容的にも一つ一つが充実し、部員全員が一致団結し、緊陣一番の気持で練習に取り組んだ。冬から全国インターハイに向けて厳しい練習が続いた。

春にはインターハイに先がけ、全国ジュニア選抜にも出場し、調子も上がり部内の雰囲気もかなりの盛り上がりを見せた。

高体連県大会には、本県最多出場の五組が出場し、古宮、遠藤組が準優勝し、全国インターハイに出場し、長浜に於て活躍。夏の国体県予選でも、古宮、遠藤組が準優勝、青森での東北三二国体に出場。そして新人大会には古宮、波入組が優勝。県室内大会には、古宮、波入組が優勝、岩本組が三位と活躍好成績を残した。この一年も躍動の年であったと思う。これもOB各位の応援のおかげと感謝している。来年度も勇往邁進し、新しい伝統を築いていきたいものである。(岡部誠彦)





待望のスポーツシティ

フタナベスポーツ

スポーツシティ 郡山市駅前 2-6-3 ☎228650(代)

商品センター 郡山市富田町字町畑19 ☎510666(代)

バスケット

今年度こそ県制覇をと、県新人大会三位、県NHK杯大会準優勝と、ワンステップずつの上昇を果したのが、最大の目標であったインターハイ大会で準々決勝で小高工高に三点差で敗れ、つまずいてしまった。郡山北工高チームが発足して三年目つけたことは、将来の展望を計る上からも重大なことであり、ここで優勝できなければその機会も遠のくだろうと、三年生にとり、最後の大会となる県総合体育大会にかけた。県南予選一四点、県大会一〇六点と圧力的な平均得点で優勝することができた。これまでパワーのあるすばらしいチームであると言われながら優勝できなかったが、この一年間の努力が最後に実を結んだ。東北ミ二国体では全国一の秋田県能代工高と対戦し敗れはしたが善戦し、相手チームの加藤監督からもすばらしいチームに次々とほめられた。その後も次年度を占う新人大会も県南地区で優勝できたし、この一年の成果は次の世代に生き続けるものと思う。

(穴沢隆雄)

バレーボール

- 県インターハイ予選 (県南) 三位
- 県インターハイ 二回戦敗退
- 県総合体育大会予選 (県南) 三位
- 県総合体育大会 二回戦敗退
- 県新人戦予選 (県南) 優勝
- 県新人戦 優勝
- 全国選抜大会県二次予選 準決勝敗退

四月、二十人の新人部員を迎えてスタートしたわが部は、右のような成績で今年度を終りました。とくに新人戦では、旧郡工、旧郡西工を通じて初優勝の栄に輝きました。この間、OB各位が毎夜指導の為来校され、またOBチーム自身も、国体予選に出場し、県大会で優勝、東北大会三位というすばらしい成績をおさめ、国体にあと一步というところまで行き、OBと現役のつながりを県下に示したことは私共の心からの喜びです。(増子孝)

弓道

郡山北工高発足三年目に於いて、ようやく道場も移築された。それまでは授業が

大会種別	地区予選	県大会
新人戦	橋本政夫 (1位)	橋本政夫 (4位)
総体	岡本政夫 (4位) 岡本政夫 (5位) 岡本政夫 (1位)	橋本政夫 (4位)
インターハイ	渡辺高橋 (6位) 正忠本 (6位) 正義政夫 (6位)	橋本政夫 (4位)
新人戦	勝元 (2位) 元夫 (4位) 勝政之 (5位)	橋本政夫 (1位)
新人戦	坂橋山田	

校舎取壊しの騒音を耳にしながらか、残された道場で弓を引いた。先輩諸兄が長年歩み続けた床は鈍い艶を放ち、十数年の重みの光をそこに見る。校舎等の撤去が進行するにつれ弓道場にも波及して来た。古い道場に使用されていた鉄骨の梁は再び使われ、八山田の地、E棟北側に移築されることになったわけだ。桃見台の道場が壊された後、部員は開成山で練習に励んだ。さて環境の目まぐるしい変化のなかで、部員の活躍は次のようであった。

定時制

一月二十六日に暫定的にせよ完成した道場が開かれた。校舎近接になったところで、更に発展を望み、今後の健闘を祈る。(池添祥史)

定時制に勤務して、八年の歳月がすぎようとしていく。この間、バレー部と山岳部を受けもって、この二つの部活動を振り返ってみると、三、四年前までは、二つの部活動時間が夏休みを境に前半がバレー部、後半が山岳部とわかれていた。私にとって山岳部は専門であるがバレー部に関しては全くの素人だ、大会に生徒達を参加させても、勝たせようにも、技術的な面の未熟さからその指導には困難をきたしていた。けれども生徒といっしょに放課後のわずかな時間に、アタックを打ったり、レシーブをしたり、とにかく基本的なプレーと、審判方法等、生徒達に教えられることが多かったこの部顧問であった。そんな中で、三年前に、部員が十名を越え、全日制大会に参加できる機会をとらえてから、一点をもぎとる苦しみを生徒ともども知り、勝つことの意味を心に刻み

ながら県定通大会に参加し、見事優勝の栄誉を勝ちとり初めて全国大会に参加でき、以来三度全国大会に参加させていただいた。私にとっては三年前のバレー部員とのつき合いが最も心に残るものであり、後輩達はその教えについてゆきよく頑張ってくれたと感謝している。

ただ心残りなのは、それまで夏休みの盆休みに五泊程度の山岳部の夏合宿がでなくなること、山岳部の生徒達には申分けない事と思っている。その分一泊程度の合宿を行ない、会社の貴重な休暇を山に登るのに使わせ、同じ釜の飯を食うことの人生を味わらせてきたつもりである。

ことし北工祭が開催されるというところで、山岳部員には定時制の意気を示そうと、またバレー部員には来年もまた県定通大会で頑張ろうと話して聞かせる昨今である。

定時制は年々生徒数が減少して、それでなくとも寂しい中で生徒達が高校生なんだと意識できるのは、やはり昼、太陽の下で活動できる場を作り出すことが我々定時制教員の仕事だと感じている。(渡辺幸典)

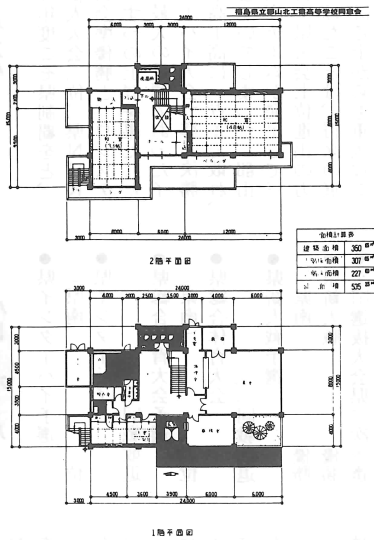
工作機械 / 板金機械 / 熔接機材 / 作業工具 / 測定工具 / 研磨材

株式会社 伊藤商店機材部

代表取締役 伊藤 英二 (28年度建築科卒)

〒963 郡山市菜根5丁目21番13号 ☎ (0249) 33-0611 (代)

建築工事計画図



太平洋戦争の真つただ中の一九四四年創立の郡山工業。経済の高度成長期、郡山が新産都市に指定された一九六三年創立の郡山西工一九七三年石油危機のあと経済の低成長期、一九七七年両校は統合して郡山北工として発足した。同時に大槻町の郡山西跡は新設の郡山高校となり、今春卒業生を出す。一方桃見台の郡山工跡は今春郡山中央高(夜間)となる。

同窓会館兼合宿所 六月完成をめざす

両校時代からの宿願であった同窓会館は郡山北工高校舎完成記念事業の一環として、ことし六月の完成をめざして推進されることになった。建設場所は本館東南方の入口で構造は鉄筋コンクリート二階建五三五㎡(一六二坪)で、総予算は六、五〇〇万円である。その内訳は同窓会員からの一般募金一、五〇〇万円、企業等の特別募金一、五〇〇万円、建設期同盟会、部活動後援会の保有金三、五〇〇万円である。

建物は一階に事務室、ホール、会議室(食堂)、和室、浴室、二階には三三帖と四八帖の和室(寝室)が予定されている。

郡山北工現勢

一九七九・五・一

全日制進路 497		教職員		生徒		校地等		位置	
就職地域別	産業別	進	定全	定全	校地	運動	標北東	緯度	経度
424	424	進	計時	計時	地(㎡)	場(㎡)	緯度	緯度	経度
宮城 北関東 東京圏 福島県	第三次	学	計時	計時	校舎敷地(㎡)		35°00'	140°00'	140°00'
他			制制	制制			35°00'	140°00'	140°00'
							35°00'	140°00'	140°00'

募金についてのお願
同窓生の願望の一つでありました会館の建設が実現しようとしております。つきましては内容の書いております書類は、お手元に届いていると思っております。一月末わかりと存じます。一月末現在の処、希望額の三分の一にも達しておりませんので、これからでも結構です。何とぞ多分の御協力を下さいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

支部連絡先 (役員名)

支部名	支部長名	卒業年度	勤務先	〒	現住所
東 京	小野寺 昭	23キ	日東紡建材(株)ロックファイバー営業部	145	東京都太田区北嶺町27-4
宇 都 宮	吉田 良毅	31キ	富士重工(株)宇都宮製作所生産部第二生産課	320	栃木県宇都宮市宮原3-4-11
水 戸	山崎 功	29キ	(株)日立製作所水戸工場	312	茨城県勝田市申根字六ツ野4950-14
日 立	山川 敏夫	27キ	(株)日立製作所日立工場	316	茨城県日立市金沢町2672-100
埼 玉	土屋 勇	29キ	日産ディーゼル(株)上尾工場	362	埼玉県上尾市愛宕町2-17-9
会 長	渡辺 達英	24キ	文房具商	963	郡山市麓山1-16-28
本部事務局	広江 力男	24キ	県立郡山北工業高等学校	963	郡山市富久山町八山田大林1
山 水 電 気	宗川 哲雄	40テ	山水電気(株)郡山工場	969-05	郡山市安積町荒井字荒池下43
白 河 方 部	清水 国雄	25キ	清水建設工業(株)	961	白河市南町44
林 精 器	田崎 敬雄	35キ	林精器(株)須賀川工場	969-05	郡山市安積町笹川1
郡山市役所	加藤 宰司	25キ	郡山市役所富久山支所	969-13	安達郡大玉村玉井字薄黒内127
コパル精密	渋谷 俊晴	33キ	コパル精密(株)	963	郡山市業根2-5-11
日 東 富 久 山	高橋 英雄	25キ	日東紡績(株)富久山工場	963	郡山市安積町柴宮27-10
日 大	守尾 光晴	50キ	日本大学工学部機械科	963	郡山市久留米4-125

「今日のスタミナ源」 味とボリュームの弁当
給食弁当・仕出し
寿司、おにぎり、オードブル、etc
ご予算に応じて調整いたします

ホクト一食品

郡山市山崎305-90 TEL 22-0166

同窓会予算・決算報告

1. 収 入		昭53決算	昭54予算
繰越	金	109,014	17,978
会入	費	1078,000	1116,000
利	金	539,000	558,000
雑	子	7,362	100
合	入	85,000	10,000
計		1600,348	1702,078
2. 支 出			
基	本	323,400	334,800
会	議	159,690	160,000
事	務	42,200	50,000
通	費	283,080	290,000
慶	信	130,000	135,000
旅	用	139,900	150,000
誌	費	170,500	130,000
編	費	39,000	40,000
外	品	134,600	138,000
念	費	60,000	70,000
局	費	100,000	20,4278
予	備		
合	計	1582,370	1702,078
3. 残 金			
残	金	17,978	0

基本金会計(昭53)

1. 収 入		
繰越	金	1337,739
利	子	496,298
昭和54年度分		334,800
合	計	2168,837
2. 支 出		
校歌碑建立資金		486,820
残	金	1682,017

(事務局・会計担当 広江力男)

新入会員

科		昭52	昭53	昭54
全 日 制	機 械	162	170	120
	電 気	115	117	177
	電 子	39	42	42
	情報技術	—	—	42
	建 築	42	45	40
	化学工学	79	79	79
	工業化学	39	44	—
定 時 制	機 械	25	29	18
	電 気	20	18	17
	建 築	18	14	—
合 計		539	558	435

第三回 定例総会報告

事務局からの報告

第三回定期総会は、五月二十日(日)午後二時より郡山ビューホテル四階において同窓生三十五名が参加して開催されました。そのおもな内容は別になく、別紙の通り決算報告、予算案が可決され、基本金会計より校歌碑建立資金の支出も原案通り可決されました。その他の件で、郡山市役所方部「たくみ会」の方部長加藤幸司氏より校名変

更についての動議が出されたが、否決された。次に役員改選が行なわれ、会長 渡辺達英、副会長 今泉善治、佐藤正夫、今泉顕喜、佐々間秀夫、監事 加藤和夫、芳賀信正、滝田孝太郎。以上で決定、会議は全て終了いたしました。続いて恒例の懇親会が盛大に行なわれました。

教職員異動

◆転出職員 カッコ内転任先
佐久間俊忍(福島工)
山田忠義(石川)、石井武(船引)、古川邦夫(須賀川)、加藤仁一郎(福島)、仲本武司(福島工)、南正博(只見中)、佐藤謙敬(南会津)、落合宏昌(平芳工)青砥克典(二本松工)、園部好郎(福島工)、菅野昭二(福島工)、大河原博美(教育センター)、矢吹二良(勿来工)、横山正治(会津中央病院)、鈴木和子(保原)、橋本満義(相馬農)

◆転入職員 カッコ内前任校
賀川力(小高工)、渡辺侃(須賀川)、宗像重武(湖南)、遠藤雄(福島工)、関根昭一(二本松工)、鈴木孝雄(福島工)、遠藤寿一(喜多方工)、佐川幸子(新任)、白井詞明(新)刈谷俊樹(新)



冷暖房・空調設備・冷凍・冷蔵設備
給排水衛生設備・設計・施工

東北空調工業株式会社

代表取締役 岡崎初美 (28年度機械科卒)

本社 郡山市富久山町久保田字我妻84番地5
〒963 TEL 22-4540 (代表)



◆作業服・制服・白衣 製造◆

株式会社 浜津被服

代表取締役社長 浜津平一
取締役営業部長 浜津幸平 (機3期卒)

福島県郡山市清水台二丁目5番3号 ☎32-2631

同窓会規約

第一章 総 則

第一条 本会は福島県立郡山北工業高等学校同窓会と称し、本会の本部事務局は、福島県立郡山北工業高等学校（以下「母校」と称す）内におく。

第二条 本会は会員の親睦を図り互助の事業を行ない、母校教育の振興発展に努め、わが国の工業発展に寄与することを目的とする。

第三条 本会は第二条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

- 一 母校の発展と会員の相互扶助に関する事業
 - 二 会誌・会員名簿・その他図書印刷物の刊行
 - 三 その他目的達成に必要な事業
- 第二章 会 員
- 第四条 会員を分けて普通会員、名誉全員、特別会員とする。
- 一 普通会員は県立郡山工業高等学校・県立郡山西北工業高等学校・県立郡山北工業高等学校の出身者とする。
 - 二 名誉会員は母校の旧校長とする。
 - 三 特別会員は母校の現

旧教職員とする。

第三章 役員

第五条 本会に次の役員をおく。

- 一 会 長 一名
 - 二 副 会 長 四名
 - 三 監 事 三名
 - 四 常任幹事 若干名
 - 五 幹 事 名
 - 六 事務局次長 一名
 - 七 事務局次長 名
- 第六条 役員は次のとおりである。
- 一 会長は本会を代表し、総務一切を統括する。
 - 二 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その任務を代行する。

- 三 監事は本会の運営及び会計を監査し、幹事に出席し発言できる。
 - 四 常任幹事は本会の事業を執行する。
 - 五 幹事は本会の事業を審議する。
 - 六 事務局次長は会務の処理にあたる。
 - 七 事務局次長は事務局長を補佐し庶務を分担する。
- 第七条 本会の役員は次の方法によって選出し、その任期は二年とする。但し再任を妨げない。
- 一 会長・副会長・監事は総会において選出する。

二 常任幹事・幹事・事務局次長は会長が委嘱する。

三 事務局次長は事務局長が選任する。

第四章 会 議

第八条 本会の会議は総会・幹事会・常任幹事会とする。

一 総会は本会の最高決議機関であって、毎年一回会長がこれを召集する。但し幹事会が必要と認められた場合は、臨時に開くことができる。

二 総会には出席人員をもって成立し、決議は出席者の過半数の同意を必要とする。

- 二 幹事会は正副会長・事務局次長・同次長・常任幹事・幹事・監事で構成し、総会につぐ決議機関である。
 - 三 常任幹事会は正副会長・事務局次長・同次長・常任幹事・監事で構成し、会務を審議執行する。
- 第九条 必要に応じて三役会を開くことができ、正副会長・事務局次長で構成する。
- 第五章 会費・会計及び諸帳簿
- 第十条 本会の経費は会費・入金金・事業収入・寄附金をもってこれをお

てる。

第十一条 普通会員は入会の際、入会金千円と、終身会費二千円を納入する。

第十二条 本会の入会金・終身会費の二割を、基本金として積立てる。

第十三条 本会の会計年度は四月に始まり、翌年三月に終る。

第十四条 本会の収支は毎年三月末日において決算し、総会に報告する。

第十五条 本会に次の帳簿をおき、事務局で保管する。

- 一 規約綴
 - 二 会員名簿
 - 三 役員名簿
 - 四 会計簿
 - 五 記録簿
 - 六 文書綴
 - 七 備品台帳
 - 八 その他必要と認められた帳簿
- 第六章 雑 則
- 第十五条 本会に次の集

- 一 各支部会
 - 二 各科会
 - 三 同級会
 - 四 その他の会
- これらの運営はそれぞれの規約による。
- 第十六条 本会に次の内規を設ける。
- 一 表彰内規

二 旅費内規

三 慶弔内規

四 会計内規

第十七条 本会会員は氏名・住所・勤務先等に変更があった場合、直ちに事務局に連絡しなければならない。

第十八条 規約の変更は総会において、出席会員の過半数の賛成を得なければならない。

第七章 附 則

一 この規約は昭和五十二年十二月十八日より施行する。

編集後記

郡山北工高が発足して三年目。「安積の沃野」「理想も遙か」な「八山田が丘」ではことしも「樋音高く」第四期工事が進められ、実習棟もプールも弓道場も完成しました。新幹線駅舎も完成の郡山駅から北西北に五キロ、学校終点のバスも開通し、生徒は便利になりました。ほぼ全員の進路決定、各種検定試等への大量合格、生徒会各部、委員会等のめざましい活躍の一端を紹介すべく、「体育部の奮戦、この一年」を特集しました。合宿所の建設も間近で、施設を利用しての一層の奮闘が期待されます。

<p style="text-align: center;">設計 監理</p> <p style="text-align: center;">佐藤実建築設計事務所</p> <p style="text-align: center;">一級建築士 佐藤 実 (33年度卒建築科)</p> <p style="text-align: center;">郡山市麓山一丁目7-18 ヤマトビル3F TEL 33-3894</p>	<p style="text-align: center;">よい子が育つよい牛乳 あぶくま高原牛乳</p> <p style="text-align: center;">岡田乳業 小原田販売所</p> <p style="text-align: center;">郡山市栄町5-18 ☎33-3281</p>
--	--